



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社

コード番号 4182 URL <http://www.mgc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 北川 元康

TEL 03-3283-5041

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	115,433	0.1	1,117	△79.9	5,280	△47.6	4,188	△40.6
24年3月期第1四半期	115,360	4.0	5,561	△11.4	10,069	19.9	7,053	82.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 6,236百万円 (△28.9%) 24年3月期第1四半期 8,768百万円 (138.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.27	—
24年3月期第1四半期	15.60	15.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	606,643	295,205	46.9
24年3月期	595,250	292,111	47.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 284,677百万円 24年3月期 281,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	230,000	△0.0	4,000	△46.7	11,000	△32.1	9,000	△25.7	19.92
通期	480,000	6.1	13,000	43.1	28,000	7.2	23,000	86.6	50.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	483,478,398 株	24年3月期	483,478,398 株
25年3月期1Q	31,747,909 株	24年3月期	31,666,371 株
25年3月期1Q	451,752,570 株	24年3月期1Q	452,005,364 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、欧州債務問題、中国経済の減速、円高の継続など、不安定な世界経済の影響を受け、厳しい状況となりました。

当社グループにおきましては、メタノールや電子工業用薬品、ポリカーボネートなどの販売数量が増加したものの、メタノール誘導品や芳香族化学品、電子材料などが需要低迷や市況下落の影響を受け、売上高は前年同期並みにとどまりました。

営業利益は、化学品の価格下落によるマージン悪化や電子材料の販売数量減少などにより、減益となりました。

持分法利益は、メタノール市況が堅調に推移し、海外メタノール生産会社を中心に増益となりましたが、経常利益は減益となりました。

以上の結果、売上高1,154億円（前年同期比 0億円増（0.1%増））、営業利益11億円（前年同期比 44億円減（79.9%減））、持分法利益53億円（前年同期比 2億円増（5.7%増））、経常利益52億円（前年同期比 47億円減（47.6%減））、四半期純利益41億円（前年同期比 28億円減（40.6%減））となりました。

〔天然ガス系化学品事業〕

メタノールは、海外メタノール生産会社からの引き取り数量が増加したことから、増収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の販売価格が市況低迷により下落したことや、ネオペンチルグリコールの販売数量が中国経済の減速などにより減少したことなどから、減収減益となりました。

酵素・補酵素は、コエンザイムQ10の販売が低調に推移したため、前期を下回る損益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油販売価格が前期を上回ったため、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は390億円（前年同期比 8億円減（2.0%減））、営業損失は9億円（前年同期比 16億円悪化）となりました。また、海外メタノール生産会社が増益となり、持分法利益を43億円計上した結果、経常利益は29億円（前年同期比 12億円減（30.6%減））となりました。

〔芳香族化学品事業〕

特殊芳香族化学品は、メタキシレンジアミンとMXナイロンは前期並みの収益となりましたが、芳香族アルデヒドの販売数量が減少したため、減収減益となりました。

高純度イソフタル酸は、欧米の長引く経済停滞と中国経済の減速などによるポリエステル市場悪化の影響により販売価格が下落し、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は320億円（前年同期比 2億円増（0.8%増））、営業損失は4億円（前年同期比 11億円悪化）、経常損失は7億円（前年同期比 11億円悪化）となりました。

〔機能化学品事業〕

工業用無機薬品類は、過酸化水素の販売数量が震災の影響を受けた前期に比べて増加したことから、増収増益となりました。

電子工業用薬品類は、超純過酸化水素の販売数量が増加したことや、半導体向けのハイブリッドケミカルが好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、ポリアセタールは減益となりましたが、震災影響から回復したポリカーボネートの販売数量増加により、増収増益となりました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、スマートフォンのカバーガラス代替向けハードコートシートの販売数量は増加しているものの、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量が前期を大きく下回って推移したことから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は307億円（前年同期比 24億円増（8.5%増））、営業利益は16億円（前年同期比 8億円減（35.5%減））となりました。また、持分法利益を5億円計上した結果、経常利益は16億円（前年同期比 12億円減（43.1%減））となりました。

〔特殊機能材事業〕

電子材料は、半導体パッケージ向けBT材料が、スマートフォン関連用途は着実に収益を伸ばしているものの、汎用途の需要低迷が続き、減収減益となりました。

「エージレス®」などの脱酸素剤は、国内の食品分野が堅調に推移したことから、前期並みの収益となりました。

以上の結果、売上高は133億円（前年同期比 17億円減（11.8%減））、営業利益は8億円（前年同期比 12億円減（60.2%減））、経常利益は8億円（前年同期比 12億円減（59.4%減））となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は1億円（前年同期比 0億円増（5.6%増））、営業利益は0億円（前年同期比 0億円減（13.9%減））、経常利益は2億円（前年同期比 0億円減（9.9%減））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて113億円増加の6,066億円となりました。

流動資産は、21億円増加の2,561億円となりました。これは、受取手形及び売掛金や仕掛品が減少した一方で、現金及び預金や、商品及び製品が増加したこと等によるものです。

固定資産は、92億円増加の3,504億円となりました。有形固定資産は、主に建設仮勘定が増加したことにより、41億円増加の1,953億円となりました。投資その他の資産は、持分法利益の計上や、為替換算による投資有価証券の増加などにより、44億円増加の1,511億円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて82億円増加の3,114億円となりました。

流動負債は、88億円増加の2,022億円で、これは、主に支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

固定負債は、5億円減少の1,091億円で、これは、主に長期借入金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度に比べて30億円増加の2,952億円となりました。これは、その他有価証券評価差額金は37億円減少した一方で、為替換算調整勘定が円安により52億円増加したことや、利益剰余金が14億円増加したことによります。その結果、自己資本比率は46.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

期初には幾分好転の兆しが見えた世界経済も、足元では悪化の度合いを強めており、当社グループとしては前期に引き続き、厳しい収益環境に直面しています。

事業ごとに濃淡はあるものの、メタノール誘導品やコエンザイムQ10、高純度イソフタル酸をはじめとする芳香族化学品については、販売数量の減少ならびにマージンの悪化に見舞われております。また、液晶テレビ向けのポリカーボネート・フィルムや汎用半導体用途向けのBT系材料など、今期は販売数量の回復を見込んでいた事業についても、当初予想を下回り推移している状況です。

電子工業用薬品や最先端分野向けの電子材料、あるいはポリカーボネート・シートなど、一部の高性能製品については順調に売上を伸ばしつつあるものの、残念ながら他の事業の落ち込みを補うには至っておりません。

第2四半期以降も引き続き、欧州債務問題や円高の長期化、中国経済の低迷等が懸念されることから、業績予想については、前回予想から下方修正を行なうことと致しました。

なお、業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル80円、1ユーロ100円としております。

連結業績予想の修正

平成25年3月期 第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	240,000	8,000	16,000	13,000	28 77
今回発表予想 (B)	230,000	4,000	11,000	9,000	19 92
増減額 (B - A)	△10,000	△4,000	△5,000	△4,000	—
増減率 (%)	△4.2	△50.0	△31.3	△30.8	—
(参考) 前年同期実績 (平成24年3月期第2四 半期連結累計期間)	230,076	7,500	16,204	12,109	26 79

平成25年3月期 通期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	500,000	18,000	34,000	28,000	61 96
今回発表予想 (B)	480,000	13,000	28,000	23,000	50 90
増減額 (B - A)	△20,000	△5,000	△6,000	△5,000	—
増減率 (%)	△4.0	△27.8	△17.6	△17.9	—
(参考) 前期実績 (平成24年3月期)	452,217	9,083	26,116	12,327	27 28

(参考) 個別業績予想の修正

平成25年3月期 第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	200,000	4,000	11,000	10,000	22 13
今回発表予想 (B)	184,000	1,000	8,000	6,000	13 28
増減額 (B - A)	△16,000	△3,000	△3,000	△4,000	—
増減率 (%)	△8.0	△75.0	△27.3	△40.0	—
(参考) 前年同期実績 (平成24年3月期第2四 半期累計期間)	178,473	1,721	10,694	9,197	20 35

平成25年3月期 通期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	400,000	9,000	20,000	18,000	39 83
今回発表予想 (B)	376,000	5,000	16,000	13,000	28 77
増減額 (B - A)	△24,000	△4,000	△4,000	△5,000	—
増減率 (%)	△6.0	△44.4	△20.0	△27.8	—
(参考) 前期実績 (平成24年3月期)	349,892	△882	18,126	7,390	16 36

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、当第1四半期連結会計期間より、建物（建物附属設備を除く）及びリース資産を除く有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更は、中期経営計画の作成前提である当社有形固定資産の利用状況を検討した結果、生産高、稼働率等が長期安定的に推移するものと見込まれ、定額法による減価償却が当社の設備利用実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この結果、従来の方によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益は782百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ785百万円増加しております。

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,438	31,471
受取手形及び売掛金	122,054	120,552
有価証券	10,241	9,140
商品及び製品	42,761	45,091
仕掛品	10,732	8,692
原材料及び貯蔵品	22,593	24,171
その他	18,995	17,811
貸倒引当金	△779	△771
流動資産合計	254,037	256,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,793	49,734
機械装置及び運搬具（純額）	59,707	59,785
その他（純額）	81,677	85,804
有形固定資産合計	191,178	195,323
無形固定資産		
のれん	104	108
その他	3,171	3,885
無形固定資産合計	3,275	3,994
投資その他の資産		
投資有価証券	132,935	134,956
その他	14,925	17,266
貸倒引当金	△1,101	△1,058
投資その他の資産合計	146,758	151,165
固定資産合計	341,212	350,483
資産合計	595,250	606,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,427	76,483
短期借入金	90,511	91,967
未払法人税等	1,599	647
引当金	3,693	2,510
その他	28,232	30,687
流動負債合計	193,464	202,297
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	56,277	55,650
退職給付引当金	7,095	7,564
その他の引当金	1,451	1,530
資産除去債務	3,512	3,528
その他	26,336	25,866
固定負債合計	109,673	109,140
負債合計	303,138	311,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,593	35,594
利益剰余金	245,083	246,561
自己株式	△8,039	△8,083
株主資本合計	314,607	316,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,468	△247
繰延ヘッジ損益	△177	△206
土地再評価差額金	206	206
為替換算調整勘定	△36,417	△31,117
その他の包括利益累計額合計	△32,920	△31,365
少数株主持分	10,424	10,528
純資産合計	292,111	295,205
負債純資産合計	595,250	606,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	115,360	115,433
売上原価	95,546	100,344
売上総利益	19,813	15,088
販売費及び一般管理費	14,252	13,971
営業利益	5,561	1,117
営業外収益		
受取利息	30	32
受取配当金	658	545
持分法による投資利益	5,057	5,343
その他	522	593
営業外収益合計	6,269	6,515
営業外費用		
支払利息	490	589
出向者労務費差額負担 為替差損	386	431
その他	223	512
営業外費用合計	660	819
経常利益	1,761	2,353
特別利益	10,069	5,280
固定資産売却益	—	180
受取保険金	—	137
持分変動利益	17	—
特別利益合計	17	318
特別損失		
支払補償引当金繰入額	—	838
投資有価証券評価損	307	670
環境改善対策費用	463	224
減損損失	4	22
災害による損失	488	—
特別損失合計	1,264	1,754
税金等調整前四半期純利益	8,822	3,843
法人税等	1,389	△452
少数株主損益調整前四半期純利益	7,433	4,295
少数株主利益	379	106
四半期純利益	7,053	4,188

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,433	4,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△930	△3,678
繰延ヘッジ損益	6	△32
為替換算調整勘定	749	1,892
持分法適用会社に対する持分相当額	1,511	3,760
その他の包括利益合計	1,335	1,941
四半期包括利益	8,768	6,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,225	5,743
少数株主に係る四半期包括利益	543	493

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	天然ガス系 化学品事業 (百万円)	芳香族化学品 事業 (百万円)	機能化学品 事業 (百万円)	特殊機能材 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	39,867	31,835	28,385	15,098	172	—	115,360
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,876	419	380	0	19	△2,697	—
計	41,743	32,255	28,766	15,099	192	△2,697	115,360
セグメント損益 (経常損益)	4,249	420	2,881	2,154	320	42	10,069

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額42百万円は、セグメント間取引消去△95百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用138百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	天然ガス系 化学品事業 (百万円)	芳香族化学品 事業 (百万円)	機能化学品 事業 (百万円)	特殊機能材 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	39,061	32,081	30,789	13,317	182	—	115,433
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,855	594	230	0	13	△2,694	—
計	40,917	32,675	31,020	13,318	195	△2,694	115,433
セグメント損益 (経常損益)	2,950	△752	1,640	875	288	278	5,280

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額278百万円は、セグメント間取引消去△63百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用342百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、建物(建物附属設備を除く)及びリース資産を除く有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、従来の方によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント損益は、天然ガス系化学品事業が234百万円、芳香族化学品事業が175百万円、機能化学品事業が291百万円、特殊機能材事業が79百万円増加しております。